

2分の1成人の主張 —学級を改善しよう—（東書『新しい国語』四上）

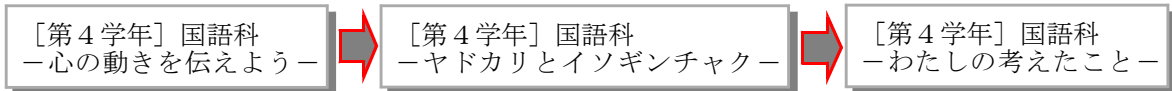
4年 国語科 9月 21Q（7時間）
附属新潟小学校 教諭 桑原 浩二

1 本単元で目指す姿
文章化過程の往還を通して、意図をもって文章を構成する子ども
具体的には、相手と書く言葉との関係を言葉の使い方に着目してとらえたり問い直したりするという「見方・考え方」を働かせ、文章の構成を考える力を発揮して文章化過程における「課題設定や取材」「構成」「記述」の過程を行きつ戻りつしながら段落の配列を考え、「ぼくは、『自分の考え』『考えの理由』『考えるきっかけになった出来事』の順番に付箋紙を並べて、文章の構成を考えました。『自分の考え』を始めにもってきた理由は、ぼくの伝えたいことをすぐに伝えると読み手に伝わると思ったからです」などと、意図をもって文章を構成する姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

| | ①知識・技能 | ②思考力・判断力・表現力 | ③態度 |
|-----|---|--|------------------|
| 国語科 | ○段落の役割に関する知識・技能 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係に関する知識・技能 | ○内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える力 | ○思いや考えを伝えようとする態度 |

3 関連する学習



4 単元の計画

| | 【学習活動】☆資質・能力 | 【働き掛け】 | Q |
|-------------|---|--|-------------------|
| 国語科 (一次) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を書く学習を理解する。 ・学級をよりよくするための考えを文章に書く学習をするんだな。 ○ 身の回りで起きた出来事や体験したことから「自分の考え」「考えの理由」等を付箋紙に記述する。 ○ 付箋紙を基に書いて伝えたい自分の考えを仮決定する。 ○ 一覧表を見て、伝えたい自分の考えを決定する。 ・学級全員で35人36脚に挑戦するという考えで文章を書いて伝えよう。 ○ 構成表やPost-it Plusを基に、文章を記述する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 言語活動「学級を改善するために身の回りのことから考えたことを文章に書いて伝えよう」を提示する。 ◆ 1週間程度の取材期間を設ける。一人一人に付箋紙を配付し、書くために必要な材料を記述するように指示する。 ◆ 身の回りで起きた出来事や体験したことから書いて伝えたいことを問う。 ◆ 学級全員の考えをまとめた一覧表を提示し、自分の考えを変更するかを問う。 ※ 伝えたい自分の考えは、必要に応じて変更してもよいこととする。 ◆ 構成表やPost-it Plus及び原稿用紙を提示する。 | 6 Q 2 時間 |
| | ○ ぼくは、構成表やPost-it Plusを使い、文章の構成を考えてから「学級全員で35人36脚に挑戦する」という伝えたい自分の考えを文章に記述できました。 | | |
| | ○ 「どっちの文ショー」を行い、友達の文章を読み比べることで問いをもち、本単元で追究する学習課題を設定する。 ★国語科③ | ◆ グループでの勝ち抜きトーナメント（「どっちの文ショー」）の場を設定し、トーナメント後に分かったこと・考えたこと・思ったことを問う。【働き掛け1】 | |

○ ぼくは、「どっちの文ショー」の第1回戦で負けちゃったよ。ぼくの文章は思っていたより、読み手に伝わっていないんだな。

伝えたいことが相手に伝わる文章を書くためにはどうすればよいか。

- 文章を考え直していく視点を設定し学習課題に対する見直しをもつ。
★国語科①★ツール活用能力
- ・取材に戻ってもう一度書くことを集めてみる必要があるよ。
- ・伝えたいことを伝えるためには、文章の構成を直してみるとよさそう。

○ ぼくは、Post-it Plusを使い、付箋紙を並び換えて文章の構成を考え直していきます。そうすれば、伝えたいことが伝わる文章が書けそう。

- 伝えたい自分の考えが相手に伝わるように付箋紙を並び換え、複数の文章の構成を考える。★国語科②★協働性

○ ぼくは、「学級全員で35人36脚に挑戦する」という考えを伝えるために、「自分の考え」「考えるきっかけになった出来事」「考えの理由」の「すぐ型」／「考えるきっかけになった出来事」「考えの理由」「自分の考え」の「ひきつけ型」の文章の構成を考えました。

- 最終的な文章の構成を決定し、判断した理由を表出する。

○ ぼくは、「自分の考え」「考えの理由」「考えるきっかけになった出来事」の順番に付箋紙を並べて、文章の構成を考えました。「自分の考え」を始めにもってきた理由は、ぼくの伝えたいことをすぐに伝えたと読み手に伝わったと思ったからです。

- 再度文章を記述し、様々な資質・能力を発揮したことで課題を解決できたことを自覚する。★国語科①②③

○ 文章の構成を考え直すとよいことが分かりました。ぼくは、構成表やPost-it Plusを使って、自分の伝えたいことに合わせて段落の並べ方を考えました。これから文章を書くときには、伝えたいことが相手に伝わるように、伝えたいことに合わせて段落の配列をよく考えて文章を書いていきたいです。

- 文章を推敲する。
- 最終的な文章を記述する。
- 交流会を行い、互いの文章のよいところを共有し合う。
★国語科③★協働性
- ・穰さんの文章は、始めに自分の考えをもってくることで、伝えたいことがすぐに分かるからよく伝わるよ。

※ 「どっちの文ショー」の共有タイムにおいて、自分の文章が伝えたいことが伝わる文章になっていないことに関する発言やつぶやきがあった場合、挙手を求め、同意を確認する。

※ 「文章をよりよくしたい」「書き直したい」という旨の発言があった場合、挙手を求め、同意を確認する。

◆ 二つの教材文を提示し、どこをどのように再考したかを問い、自分の文章に必要な課題解決の方策を選択させる。
【働き掛け2】

- ※ 「課題設定や取材」「構成」に分け、これらの過程の何が問題点なのか、どのように考え直していけばよいのかについて、子どもの発言を整理して板書する。
- ※ 再構成をするためには構成表及びタブレット端末のアプリが有効であるという発言があった場合、全体で共有させる。

◆ 付箋紙をどのように並べ直すかを問い複数の文章の構成を提案させる。
【働き掛け3】

- ※ 付箋紙、構成表、タブレット端末等を配付する。
- ※ ペアや班で話し合いながら進めてもよいこととする。
- ※ 提案させる際には、ペアの友達からどうしてそのような付箋紙の並べ方にしたのかについて質問をさせる。

◆ 文章の構成を最終決定させ、判断した理由を問う。
【働き掛け4】

- ※ ワークシートを配付し、そのように文章を構成した理由等を記述させる。

◆ 再度文章を記述させ、これから文章を記述していく際に考えていきたいことを問う。
【働き掛け5】

- ◆ 文章の中で直したいところを問う。
- ◆ 原稿用紙を提示する。
- ◆ 交流会を設定し、互いの文章のよいところを問う。
- ※ 交流会は、互いの文章を自由に読み合える形式とする。

